

令和3年度公益財団法人福島県体育協会
加盟競技団体へのアンチ・ドーピング啓発活動実施要項

- 1 目的 ドーピングは、スポーツのフェアプレイ精神に反し、競技者の健康を損ね、薬物の習慣性から社会的な害を及ぼすばかりか、人々に夢や感動を与えるスポーツそのものの意義を失わせ、国民の健康的な生活や未来を担う青少年に対して悪影響を及ぼすものである。そこで、本協会スポーツ医・科学委員会と福島県スポーツファーマシスト協会の協力のもと、アンチ・ドーピングに関する啓発活動を実施し、アスリートをはじめスポーツに関わる全ての方にアンチ・ドーピング活動について正しく理解してもらうことを目的とする。
- 2 主催 公益財団法人福島県体育協会
- 3 期間 令和3年5月中旬～令和4年2月中旬
- 4 実施内容 (1) 令和3年度中に全41競技団体は、アンチ・ドーピング研修会を実施し「実施報告書」を令和4年2月下旬までに提出する。
(2) アンチ・ドーピングの意識が低い少年種別を中心に研修会を実施する。
※ 今年度も新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて場合によっては中止や延期の対応をする。
- 5 実施方法 (1) 各加盟競技団体の強化合宿、大会等の余暇時間等を活用して実施する。
※ 研修会実施の際は、感染症対策を講じて行う。
(2) スポーツファーマシスト（講師）を派遣して実施するか、各競技団体が独自で研修会を実施するかを決めて行う。
- 6 スポーツファーマシストを派遣する場合の手順
(1) 各競技団体から電話で本協会へ申し込む。
(2) 本協会担当が福島県スポーツファーマシスト協会と日程調整を行う。
(3) 講師は県内在住のJADA公認スポーツファーマシスト
(4) 調整状況を伝え、各競技団体は講師派遣依頼書を提出する。〈様式1〉
(5) 派遣に係る経費を本協会が負担する。
※ 新型コロナウイルス感染拡大の状況によってはファーマシスト協会からの講師派遣ができない場合がある。
- 7 実施報告 (1) 講師を派遣して実施する場合は、上記「6：スポーツファーマシストを派遣する場合の手順」に沿って手続きし、研修会実施後、〈様式2〉実績報告書を提出する。
(2) 競技団体が独自で実施した場合は、〈様式3〉実施報告書をFAXにて提出する。
- 8 問合せ先 公益財団法人福島県体育協会 生涯スポーツ係
〒960-8043
福島市中町8番2号 福島県自治会館6階
E-Mail abe_yoshito_01@pref.fukushima.lg.jp
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971